

40期生修学旅行報告

40期学年主任 岡田裕之

40期生修学旅行は、11月14日～17日の3泊4日で沖縄本島に行きました。出発日の朝の集合が早かったにもかかわらず、生徒たちは元気に羽田空港に集合しました。離陸時の歓声がこれからの大きな楽しみにつながるように思えました。

初日は沖縄到着後、クラスごとに沖縄戦における平和学習を静粛な姿勢で臨みました。その後、南城市と糸満市の方々のご協力をいただき、民泊を行いました。夕方の入村式では郷土芸能のご披露もあり、温かい歓迎をいただいた後、各家庭へ移動し、ふれあいや体験を通じて交流を深めました。



2日目昼の退村式では、「おじい、おばあ」と抱き合いながら別れが名残惜しい生徒たちでいっぱいでした。民泊家庭での温かいおもてなしがあったのだと容易に想像できました。その後、今帰仁村の古宇利島まで観光をして名護のホテルに着きました。ビーチサイドのホテルとあって、生徒たちも美しい海と夕焼けで気分も大盛り上がりでした。



3日目午前は、それぞれが選んだ体験メニューを楽しみました。カヌー、琉球ガラス、伊江島サイクリング、マリンスポーツ、グラスボート。素晴らしい天気にも恵まれ、満足度は高かったと思います。午後は「美ら海水族館」を見学しました。またこの日が最後の夜ということで、学年全体で旅行係が主催のレクリエーション大会を行い、かなりの盛り上がりを見せました。

最終日は国際通りで自由行動。大きなお土産袋を手に持ち、思い思いに昼食を楽しんだあとに那覇空港に集合し、遅い時間になりましたが無事に羽田まで戻ってきました。



コロナの期間が3年間ほど続き、コロナ制限明けで遠距離旅行に慣れていないため、またインフルエンザ流行の影響もあって体調を崩す生徒も少なからず出てしまいました。そのような状況下でも何とか全員が無事に帰ってこられたことで、何よりもほっとしています。

高校3年間の最大のイベントが終わり、2年生も残り4か月。3年生になると、行事を楽しみつつ自分の卒業後の進路に向かっていかなければなりません。今回の修学旅行がよい体験となって、今後の弾みとなればと強く願っています。

